

協 写 道

北海道写真協会

事務局 ■札幌市中央区大通西3丁目6道新文化事業社内
011-210-5735(直通) 011-207-3939(FAX)
http://www.doshakyo.org/

第141号

臨時支部長会議の開催

去る12月1日、北海道新聞社2階A会議室において臨時支部長会議が開催されました。会議には札幌、恵庭、函館、小樽、余市、岩見沢、芦別、三笠、滝川、奈井江、旭川、上川、室蘭、留萌、深川、苫小牧、浦河、帯広、釧路の19支部、(委任状提出は12支部)の出席を得て、北海道新聞社事業センター事業委員の塩野谷泰宏氏、武藤省吾顧問が出席のもと、滝川支部長の渡辺精郎氏が議長に選出され、次の議案を審議、賛成多数で承認されました。

議 案

- 1 写真協会と写真道展の会計年度を一本化する。総会は7月開催に。
- 2 支部長会議を改編し、支部長に若干名の写真道展審査会員及び写真道展会友を加えた代表者会議とする。
- 3 以上の改正に基づく規約改正と暫定予算について

審 議 内 容

1 会計年度の変更について

本協会の会計年度は、毎年5月1日から翌年4月30日までとなっておりますが、このことにより左記のような問題を生じています。

らとなつてゐるため、4か月間は新旧メンバーが同時に活動しなければならず、運営上様々な都合を生じている。(3)支部長会議当日は、直後に表彰式などを控えて、審議時間が制約されている。

(1)写真道展・道展作品集の事業会計が8月に終了するので、事業・決算報告と次期事業計画・予算案は9月に審議されるべきところ、半年以上遅れの5月の支部長会議で報告・審議されている。

(2)写真協会の役員は総会後の5月から活動を開始、実行委員は事業終了後の9月か

これらの問題を解消するため、写真協会と写真道展の会計年度を一本化することとし、会計年度を毎年7月1日から、翌年の6月30日までとします。それに伴い、総会は会計監査終了後の7月開催となります。

2 支部長会議の改編について

(1)支部長会議は、規約第5章「会議」の第28条の規定により、これまで総会の代行

機関として長年にわたり、その役割を果たしてきました。支部長会議では、審査にかかわる議案や審査会員・会友の承認等についても審議の対象となっておりますが、現状の構成では審査会員や会友の意向が十分反映されているとは言えません。そのため、代行機関では支部長のほか若干名の審査会員及び会友を加えた代表者によって審議決定されることが望ましいと言えます。そのため、支部長会議の名称を「代表者会議」と変更し、その構成を左記のように変更します。

ア 支部長

イ 写真道展審査会員

当審査会員以外の審査会員の半数を選定する。なお、出席者は代表者会議の都度、順次交代するものとする
ウ 写真道展会友
会友の承認年度順に2名を選定する(支部長を除く)。

補 足

審査会員が隔年、写真道展の審査を担当(当番)している状況下、審査を担当しない審査会員の中から半数を選定するもので、その選定は役員会が行います。会友の選定については、現在、支部長の4割弱の11名が会友であることから、一定程度会友に関わる意見は反映できるものと思われ、会友の出席を2名としています。

(2)代表者会議の成立要件について

代表者会議の成立要件を規約に明文化することとし、その要件を「代表者会議構成員の過半数」と規定します。

3 規約改正について

以上の改正にともない第3章の7条は、「本会の事業および会計年度は、毎年7月1日に始まり翌年の6月30日をもって終わ

る。」に、5章の第27条は「代表者会議」に、28条は「ただし、代表者会議によりこれを代行することができる。代表者会議は支部長および若干名の写真道展審査会員並びに写真道展会友をもって構成する。また、代表者会議は代表者会議構成員の過半数の出席(委任状を含む)をもって成立する」と改正されます。

4 暫定予算について

令和2年5月1日から6月30日までの予算の執行については、例年、5月及び6月の本協会の予算執行額が僅少であることを踏まえ、例外的に次により対応することとし、予定される7月の総会において当該事業報告及び決算報告を行います。

・写真協会会計

- ①例年通り5月に監査を受ける。
- ②5月1日から6月30日までの暫定予算を組み7月に監査を受ける。

・写真道展会計

- ③事業が終了している6月末で会計を締め、7月に監査を受ける。
- 以上、すべての審案について承認をいただき終了いたしました。

師走の日曜日に遠方からも多数の支部長さんにお集まりいただき、貴重なご意見を多数頂戴しました。役員一同大変感謝しております。今後とも道写協の発展を願って役員一同頑張つて行く所存です。皆様のご支援ご協力宜しく願ひいたします。(河江利幸)

慶弔規定の変更

- 1 北海道写真協会規約の付則の第7項
- 2 本会役員、審査会員の配偶者が逝去したとき 供花、弔電
- 3、本会役員、審査会員の父母が逝去したとき 弔電

を削除とします(令和2年から施行)

第67回写真道展にむけて

審査委員長 田嶋 英夫



道内最大の写真公募展「写真道展」も、67回を迎えました。

長年継続できた

のも、諸先輩審査委員、本部役員、各支部長はじめ全道の写真愛好家の写真に対する熱意の表れと察します。

伝統ある写真コンテストの審査委員長の指名を頂き、責任の重さを感じつつ、次世代に向けての写真文化の向上に、微力ながら貢献できたらと思っております。

全道から寄せられる力作をしっかりと受け止め、審査できる幸せを噛みしめております。

写真道展の大きな特徴は、各部門一席受賞者に「大臣賞」が贈呈され、その中から「第67回写真道展大賞」が贈られる栄誉が与えられます。審査会は、2日間にわたり、二十数名の審査委員により行われます。全道から応募された約5千点を超える作品を一次から六次の最終審査まで、厳正かつ慎重な雰囲気の中で進められます。新鮮な視点で、見る人の心に響く多くの作品の応募をお待ちしています。

【第一部】自由の部

自分を取り巻く日常での生活や出来事、ハプニングなど、写真ならではの瞬間を表

現してほしい。デジカメの性能の向上は目覚ましく、日々の生活の中で、アンテナを張ることで見えてくるシャッターチャンスはあります。今までの入賞作品を参考にしながらですが、自分なりの感覚で捉えた自信作も大歓迎。審査では多くの作品群の中から、そのような傑作を探し出したいのです。

【第一部】観光・産業

道内は、近年外国からの観光客も増え、雄大な景色の連続に感嘆の声を上げていますが、実は、人との関りが有ったのワークショップなのです。単なる美しい場所の紹介や産業風景でなく、生き生きと仕事や観光に生きがいを感じている人々や生活の営みなど光と影を生かしたヒューマンな作品も期待しています。

【第二部】ネイチャーの部

四季の変化に恵まれた道内は、風景写真の宝庫とも言えます。それだけに多くの傑作が生まれています。人まねではなく、改めて自分の身の周りの見慣れた風景に視点を向けて欲しいのです。

「地元の利」との言葉があります。自分だけの時間帯や季節の変化に敏感に反応することが大切です。ネイチャーとは自然と対話することです。自分との孤独な戦いの中から新作は誕生します。

そのようにして生まれた作品を私たちは

決して見逃しません。傑作は意外に近くに存在するのがネイチャー北海道なのです。

※「第二部」と「第三部」では「合成・デジタル加工」は禁じられていますので、ご注意ください。

【第四部】学生の部

昨年から新設された学生を対象とした部門です。高文連の審査委員長も経験していますが、技術や表現の自由さに圧倒された記憶があります。

写真で自分の想いや表現にチャレンジして欲しい。大人の真似ではなく自分の感性を信じて下さい。学生生活の中の心に残る一瞬を見せて下さい。

★終わりに★

モノクロからネガカラー、リバーサルからデジタルと写真表現も大きな変化を遂げました。デジタルになり、誰でも「それなりに」「簡単に」撮影やプリント作業ができる時代となり、何をどのように撮影して表現するのか？に作者の力量が試されます。印刷媒体ではなく、作品展を多く見て、生の作品から撮影のヒントを受け止めて頂きたい。きらりと光る作品は、一次審査から審査員の心に残ります。そんな素敵な作品が応募されることを私たちは待っています。写真道展を機会に、多くの写友との出会いなど、写真が縁での豊かな写真ライフがあなたを待っています。

写真歴

- 1947年 新ひだか町生まれ
- 1979年 北海道写真協会入会
- 1991年 無審査会員奨励賞
- 1993年 北海道写真協会審査会員推挙 (審査会員26年)

- 2019年 北海道写真協会副会長
- 主な全国展入賞歴
- 全国二科展 国際サロン 全日本写真展
- 日本の自然写真展(何れも複数回)
- その他

- 札幌市、苫小牧市他各市町村にて個展35回開催
- 三石町 写団 写楽主宰
- 三石町文化賞 日高管内地域教育実践表彰



「駿馬の丘」 Photo by tajima

おめでとう！
岩見沢支部 50周年

：50周年記念誌から： 岩見沢支部

支部長 鈴木 佳夫

昭和45年に写真好きの17人が結成した写真集団「こぶし」を端緒として岩見沢支部が創立されました。

支部創立から今日までの歩みは順風満帆ではなかったと思います。半世紀の歴史を紡いだ源泉は、写真に熱情を注ぎ続けてきた先輩諸氏の労苦はもとより、写真のそのものが持っている魅力ではないかと思えます。今、私たちが実感している月例会のあの充実した楽しい時間は先輩諸氏が造り育ててくれたものと感謝しています。

月例会は、実にフラットで自由な雰囲気の中で全員発言の爽りある楽しい写真談議となります。また、互選審査は、自分の責任と眼力を培い自己の力量を高めています。

会員の皆さんは、写真を語り合える仲間と素晴らしい傑作に出会えることを享受し腹底楽しんでいます。

これからの支部活動は「写真の魅力を極め



—中野会長を囲んで—



挨拶される中野会長

何よりも写真に拘ることの楽しさを広めそして伝えていくこと」を中心に据えていきたいと思えます。

最後になりましたが、北海道写真協会会長中野潤子様には公私ともにご多用のところ祝賀会に出席賜りましたことと、平素より岩見沢支部に賜りましたご指導ご支援に深く感謝申し上げます。今年度の事業は、次の通りです。

- (一)月例会10回(4月は年次総会・懇親会、12月は忘年会)
- (二)会員写真展(高文連写真部に展示場所の提供)
- (三)フォトツアー(他団体との共催で実施)
- (四)研修事業(現像ソフトの活用、ストーリーフォトの効果的な撮り方)
- (五)地域連携事業(会報の発行、市広報、文化連盟、高文連支援、各報道機関等)

(六)支部創立50周年記念事業(記念誌発刊記念祝賀会、顕彰事業、ファミリーフォトコンテストの実施)

* トピックス *

* 恵庭支部

恵庭写真協会は、昭和53年創立、昨年40周年を迎え、記念式、記念誌作成、記念写真展を行いました。

月例会は、互選形式で作品を選考し、作者の作画意図の発表、担当講師者からのアドバイス等のコメント、会員の意見もあり写真技術の向上を図っています。

また、道写協審査会員の選考・指導を月例コンテストとして年2回行っております。作品発表は、恵写展、文化祭等で市民会館で行い、撮影旅行も年2回(春、秋)恵庭近郊で実施しています。現在会員は26名(女性8名)で活動しています。



* 札幌支部

撮影会日和のお天気に恵まれ、7月7日、北海道開拓の村で撮影会を開催しました。100名を超える参加者が集まり、長谷

川純一氏と武藤省吾、加賀谷重雄、両審査会員の3名の指導により、行われました。若別、室蘭、旭川、岩見沢、美唄、小樽の各支部からもご参加いただき、感謝です。



モデルにカメラを向ける参加者

* 高橋和幸審査会員

写真集『懐かしいSL讃姿』出版



近年全道から姿を消したSLの勇姿を後世に残しておく大切さを感じ、写真集を出版いたしました。

支部例会成績

留萌 支部長 崎出恒夫

- ▽8月例会(18日) 審査互選
- ①澤岡政江③川上正己
- ▽10月例会(6日) 審査互選
- ④澤岡政江⑤崎出恒夫③⑤畑忠幸⑤川上正己
- ▽11月例会(10日) 審査互選
- ①③松葉師正②④川上正己②畑忠幸

恵庭 支部長 西澤 實

- ▽8月例会(20日) 審査互選
- ①神能俊行・加藤憲秋・吉村登美子④田中康夫⑤村井正人・中岡正美⑦五東康夫
- ▽9月例会(9日) 審査互選
- ①吉村登美子②村井正人③加藤憲秋④田中康夫・佐野ミヨ・吉村剛⑦神能俊行⑧五東建夫・菅井正俊
- ▽10月例会(14日) 審査互選
- ①吉村登美子②西澤實・佐野ミヨ④加藤憲秋菅原恵子・中岡正美⑦吉村剛・田中康夫
- ▽11月例会(11日) 加賀谷重雄審査会員選考
- ①西澤實②吉村登美子③村井正人④神能俊行⑤吉村剛⑥中岡正美⑦加藤憲秋⑧佐野ミヨ⑨中村忠司

室蘭 支部長 佐々木昇

- ▽7月例会(26日) 山下智審査会員選考
- ①②田村謙次③成田正利・浦野進・玉木英雄(入選)



7月例会1位「出発のとき」 カラー 田村謙次

- 大坪 恵子 三
- 点・鳥海 政史
- 二点・成田正
- 利ほか
- ▽11月例会(22日) 浪岡和雄審査会員選考
- ①大坪恵子②田村謙次・成田正利③齋藤ますみ④太田秀樹・浦野進

滝川 支部長 渡辺精郎

- ▽5月例会(21日) 審査互選
- ①花岡勝美②萩原洋子③三井高幸④山田信重⑤中川公王
- ▽8月例会(28日) 審査互選
- ①三井高幸②萩原洋子③花岡勝美④山田信重⑤中川公王

釧路 支部長 石川 隆



9月例会1位「足がでてますよ」 カラー 蝦名昇

- ▽9月例会(12日) 高橋和幸審査会員選考
- ①蝦名昇
- ②橋本憲一
- ③鈴木啓司郎
- ④長尾芳文
- ⑤松坂正彦
- ⑥高橋米子
- ▽11月例会(14日) 佐藤武治審査会員選考
- ①水野敏幸②蝦名昇③林田定昭④浅海信一⑤中嶋淳一
- ⑥松坂正彦
- ⑦秋期撮影会(10月10日) 互選 高橋和幸審査会員講評
- ①立島春子②石川隆③中嶋淳一④佐々木せつ子⑤橋本憲一⑥松坂正彦

札幌 支部長 山形典夫

- ▽7月例会(7日) 広木忠雄道写協参与選考
- ①古川敬子②大野信子③浦崎毅子④朝日均⑤飯高光紀
- ▽8月例会(16日) 河江利幸審査会員選考
- ①安田敏彦②渡辺勝③今明美④林繁造⑤寺嶋昭三
- ▽9月例会(20日) 加賀谷重雄審査会員選考
- ①林繁造②一戸健吾③安田敏彦④飯高光紀⑤浦崎毅子
- ▽10月例会(18日) 経塚剛敏審査会員選考
- ①林繁造②今明美③渡辺勝④大野信子⑤浦崎毅子
- ▽11月例会(15日) 中野潤子審査会員選考
- ①飯高光紀②古川敬子③掛村一憲④浦崎毅子⑤安田敏彦

岩見沢 支部長 鈴木佳夫

- ▽8月例会(14日) 審査互選
- ①中川昌子②松本久子③中神由美子④岩井志志・山崎

正義・高橋正子

- ▽9月例会(11日) 審査互選
- ①③中神由美子①③中川昌子⑤木村克己
- 松本久子・岩井郁美
- ▽10月例会(9日) 審査互選
- ①輪島礼子②②中川昌子④木村克己⑤友広茂夫
- ▽11月例会(13日) 審査互選
- ①③鈴木佳夫②岩井郁美④木村克己⑤斐田祥健

函館 支部長 松山浩司

- ▽7月例会(24日) 石島忍審査会員選考
- ①玉田多江子②菅野博也③岩佐敏子(入選) 七崎美雪・芝井司・荒木憲幸・菅野博也・渡部啓二ほか
- ▽9月例会(26日) 石島忍審査会員選考
- ①①玉田弘志②②荒木憲幸③芝井司・小池貞子(入選) 松山浩司・七崎美雪・芝井司
- 古川成由・菅野博也ほか
- ▽10月例会(30日) 石島忍審査会員選考
- ①菅野博也②松山浩司・小池貞子③玉田弘志(入選) 七崎美雪・渡部啓二・菅野博也
- 荒木憲幸・玉田弘志ほか

小樽 支部長 川原静雄

- ▽9月例会(4日) 増田輝敏審査会員選考
- ①松居秀昭②④根本辰男③嵯峨秋雄⑤一條周一
- ▽11月例会(6日) 瀧野邦保審査会員選考
- ①北宏保②松居秀昭③西谷敏也④一條周一⑤根本辰男⑥小林好江⑦嵯峨秋雄



9月例会1位「専心の一打」 カラー 松居秀昭

三笠 支部長 伊藤修身

- ▽9月例会(27日) 加賀谷重雄審査会員選考
- ①④⑤高橋②谷内③⑨古平⑥⑦澤田⑧⑩金武
- 撮影会(7月7日) 加賀谷重雄審査会員選考

余市 支部長 一戸弘利



11月例会1位「百日」 カラー 後藤好江

旭川 支部長 白鳥敏昭

- ▽7月例会(11日) 田本實審査会員選考
- (特選) ①④小山満②細川貞子③山本義則⑤森田正義(入選) 細川貞子・佐藤繁雅
- 白田忠雄二点・山本義則・宮野和子二点ほか
- ▽8月例会(8日) 馬場和美審査会員選考
- (特選) ①⑤佐藤繁雅②山本義則③小山満④森田正義(入選) 山本義則・上平秀美
- 吉田祥子二点・小山満二点ほか
- ▽9月例会(12日) 田本實審査会員選考
- (特選) ①宮崎哲夫②③⑤小山満④森田正義(入選) 宮野和子・佐藤繁雅・吉田清次郎
- 浦島寛・山本義則ほか
- ▽10月例会(10日) 福田光男審査会員選考
- (特選) ①吉田祥子②山本義則③宮野和子④小山満⑤佐藤繁雅(入選) 小山満・森田正義
- 佐藤祐子・浦島寛・上平秀実ほか
- ▽11月例会(7日) 馬場和美審査会員選考
- (特選) ①佐藤繁雅②山本義則③⑤吉田祥子④森田正義(入選) 上平秀美二点・山崎添田裕子・小山満ほか

編集後記

今年も多くの皆様から原稿や写真をお寄せ頂き、ありがとうございました。令和元年も残り少なくなってきましたが、どうぞよい新年をお迎え下さい。 香取